

IPCC シンポジウム

IPCC第6次評価報告書

統合報告書から気候変動の最新知見を学ぶ

気候変動に関する最新の科学的知見を提供する役割を担う「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」は、2021年8月に公表した第6次評価報告書の第1作業部会報告書(WGI:気候変動の自然科学的根拠)、2022年2月に公表した第2作業部会報告書(WGII:気候変動の影響・適応・脆弱性)、同年4月に公表した第3作業部会報告書(WGIII:気候変動の緩和)に続いて、これらの評価報告書と3つの特別報告書を包括的にとりまとめた統合報告書を2023年3月20日に公表しました。今回は、この第6次評価報告書 統合報告書において評価された気候変動に関する最新知見を学ぶことを目的として、IPCC シンポジウムを開催します。

本シンポジウムでは、本報告書の作成において中心的役割を担われた Panmao Zhai WGI 共同議長、Hans-Otto Pörtner WGII 共同議長(オンライン参加)、および Jim Skea WGIII 共同議長を海外からお招きして、本報告書に込められた主要なメッセージについて基調講演をいただきます。また、政府側から政策動向について紹介した後、東京大学の有馬 純 特任教授をモデレーターとして、3名の基調講演者に加え、本報告書の執筆に関わられた各WGの日本の研究者の方々をパネリストにむかえたパネルディスカッションを行います。

IPCC の評価報告書や気候変動の科学にご関心をお持ちの多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時

2023年5月22日(月)

10:00~15:30(受付開始:9:30)

会場

虎ノ門ヒルズフォーラム
ホールB および オンライン

東京都港区虎ノ門1-23-3

虎ノ門ヒルズ森タワー 4階

<https://forum.academyhills.com/>

言語：日本語、英語(同時通訳有り)

主催：経済産業省、文部科学省、気象庁、環境省

共催：公益財団法人 地球環境産業技術研究機構(RITE)



- ・「虎ノ門駅」B4出口 徒歩約2分
- ・「虎ノ門ヒルズ駅」中目黒方面改札より B1出口直結、A1出口 徒歩約2分
北千住方面改札より A2出口 徒歩約2分
- ・「内幸町駅」A3出口 徒歩約8分
- ・「新橋駅」烏森口出口 徒歩約11分

プログラム

9:30 受付開始

10:00 開会・主催者挨拶 木原 晋一 (経済産業省 大臣官房審議官 (環境問題担当))

10:05 基調講演 「各WGからIPCC第6次評価報告書 統合報告書の解説」
Panmao Zhai (IPCC 第一作業部会 共同議長)
Hans-Otto Pörtner (IPCC 第二作業部会 共同議長) <ビデオ>
Jim Skea (IPCC 第三作業部会 共同議長)

12:00 休憩

13:00 政府側から政策動向の紹介
「IPCCの科学的知見をふまえた第1回グローバル・ストックテイクの展望」
青竹 寛子 (環境省 地球環境局 気候変動国際交渉室長)

13:15 パネルディスカッション

テーマ：AR6 統合報告書へのコメントとIPCCの役割 (或いはIPCCへの期待)

モデレータ：有馬 純 (東京大学 公共政策大学院 特任教授)

パネリスト：Panmao Zhai (IPCC 第一作業部会 共同議長)

Hans-Otto Pörtner (IPCC 第二作業部会 共同議長) <オンライン>

Jim Skea (IPCC 第三作業部会 共同議長)

渡部 雅浩 (WG I 執筆者 東京大学 大気海洋研究所
気候システム研究系気候変動現象研究部門 教授)

三村 信男 (WG II 編集者 茨城大学 地球・地域環境共創機構 (GLEC) 特命教授)

秋元 圭吾 (WG III 執筆者 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構
システム研究グループリーダー・主席研究員)

森田 香菜子 (WG III 執筆者 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
生物多様性・気候変動研究拠点 気候変動研究室 主任研究員)

15:25 閉会挨拶 本庄 孝志 (公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 専務理事)

お問い合わせ

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 企画調査グループ 出口、小林

〒619-0292 京都府木津川市木津川台 9-2

TEL : 0774-75-2302 FAX : 0774-75-2314 E-mail : symposium@rite.or.jp <https://www.rite.or.jp>

当日はクールビズにて実施させていただきますので、軽装でお越し下さいますようお願いいたします。